

新年のご挨拶

明けましておめでとうございませう。

お正月には、鏡餅を飾って、いまだね（白い昆布、干し柿、だいたいを乗せていました）。昆布は大阪の食文化です。昆布が取れなくなっているそうで、昆布屋さんも注文の数だけ来ないと話されています。北海道では近い将来には絶滅するとも言われています。

温暖化が原因ですが、地球規模で自然災害が大きな被害を起こしていますし、日本でも台風、豪雨などで大きな被害を受けています。

昨年12月にスペインで国際気候変動枠組条約25回締約国会議（COP25）が開かれ、今世紀末までに気温上昇を1.5度に抑えるには、温室効果ガスを2030年までに45%減、2050年までには実質0にする必要がある、そ



理事長
別所 義正



れに向けて各国が行動をと訴えました。

日本は「石炭火力発電所の建設を中止するほか、再生可能エネルギーを利用することで石油の利用を段階的にやめていくこと」と報告を受けました。

世界では石炭発電廃止の方向ですが新たに新設計画、輸出まで行っていますし輸出先の国民からも大きな批判を受けています。

国際的な環境NGOのグループは、温暖化対策に消極的だと判断した国や地域に、皮肉をこめて「化石賞」を贈っている、我が国は受賞しました。

新しい年は、皆様と共に世界に誇れる「目標炭酸ガス0」、色んな国民の願いを叶える国になるようにしましょう。

医福生協が求められるもの



司会 2025年、さらに高齢化が進み、介護サービスが削られていき、医療も抑制されていく。いわゆる社会保障の難民が増えてくると思われまう。そういった時代に医福生協が地域にいろんなつながりをもつ中で、何を必要とされてくると思いますか。

以前勤務していた救急外来ではお金があとから請求ですし、保険証をもっていなかったら事務が手続きをやるので、もう事務にお任せという感じでした。現場では医療だけに集中した関わりでした。現在は一人の患者さんに医師、ケアマネジャーと介護と事務と、すべての職種が連携していて、そういう関係をもった仕事にあまり携わったことがないので、すごいいい形だと感じています。なかなかそのように連携をとって患者さんに寄り添うことを経験したことがないので驚きました。

今、外来で綱領学習ブックレットを使って民医連の歴史から、どういう活動をしてきたかというのを学んでいる中で、その様な理念があつての行動だとわかり、根拠が分かり、それはすごく謎が解けてよかったです。患者さんに寄り添うという言葉にしても、それがなぜやっているのか

沖縄と東京都では当然、最低賃金が違いますから、そういうもとは必ず経済格差が生じます。たまたま沖縄で生まれて育った人と、たまたまどこかで生まれて東京に出てきて東京で仕事して、東京で年を重ねた人と、同じ日本に住んでいて、それだけで受け入れられるサービスが違っているのは、医療、介護の理念としてどうなのかなというのを思います。必要なサービスを格差なく受けられることは医療、介護では必要だと思います。

沖縄と東京都では当然、最低賃金が違いますから、そういうもとは必ず経済格差が生じます。たまたま沖縄で生まれて育った人と、たまたまどこかで生まれて東京に出てきて東京で仕事して、東京で年を重ねた人と、同じ日本に住んでいて、それだけで受け入れられるサービスが違っているのは、医療、介護の理念としてどうなのかなというのを思います。必要なサービスを格差なく受けられることは医療、介護では必要だと思います。

司会 戦後70年



沼田 貴子

というのがよく分かる内容でした。此上 2025年は、僕が入職する前

から、医療と介護の問題として、団塊の世代の人たちが75歳を迎え、一般的に介護が必要になり、介護保険が破綻するのではないかとということから、現政権はその見直しをいろいろと進めようとしている。今、盛んに地域包括ケアということをやっていますが、国が出してきている地域包括ケアは、基本的には病院の病床を減らす。そのことによって医療費を抑制する。そうなったら地域に帰らないといけなくなり、その地域で介護にさせないということですが、それは国の責任ではなくて地方自治体の責任、地域で個々で共に助けなさいという政策を国が出してきています。やはり、国の責任としてやつてもらわないと地方自治体間格差が必ず生じます。

沖縄と東京都では当然、最低賃金が違いますから、そういうもとは必ず経済格差が生じます。たまたま沖縄で生まれて育った人と、たまたまどこかで生まれて東京に出てきて東京で仕事して、東京で年を重ねた人と、同じ日本に住んでいて、それだけで受け入れられるサービスが違っているのは、医療、介護の理念としてどうなのかなというのを思います。必要なサービスを格差なく受けられることは医療、介護では必要だと思います。

代からつちかっていた社会保障のいろんな制度を壊してきています。今、自己責任論が広がっている状況があり、本来、医療、介護、教育も含めて、人間の発達にかかわることを金儲けの対象にし、市場に任せてしまうことは、とんでもないことを引き起こしてしまっていると感じます。今、二握りの人だけが莫大な富を得て、多くの人はただ吸い上げられるもので、貧困層や社会的に孤立している人たちは地域にまだまじります。そういう人たちは含めて、社会をよくしていくためにわれわれももう少し目を向けて、ということをお願いしたい綱領をつくり、全日本民医連、医福生協の人たちと一緒に取り組んできました。

そういう点では本場に職場の中に、外部環境、社会情勢等について、みんなが二致できる理念的な土壌も含めて、職場づくりが大事なのではないかと思っています。

これからの自身の抱負

此上 地域の医療や、介護というのは点で関わるのではなく、線で関わるということを考えていないといけない。どういう人生を送って来られて、今があつて、これから先、どういうふうに支えていかなければいけないのか。その人がこれからも自分らしく生きるといって、今の病気を治す、今の家を片付けてあげるといって点でなく、線で関わらないといけないとい



朝田 昂浩

う印象を持ちました。僕自身は大正区に住んでいないので、大正区にはまだまだ馴染みがないのです。どうしても施設の中で働いていることが多いのもう少し組合員活動や支部会議等に参加して、大正区の人から信頼してもらえらる職員になりたいと思っています。

朝田 就職してまだ2か月なので、これから経験していくところですが、もっと利用者さんのことを知って、より深くかわつていけたらと思っています。そして深く関わってだけでなく、もっと地域のことをより知っていきたいと思っています。

沼田 看護師として業務していく中で、深く患者さんと関わっていくためには、自分が心を開いてコミュニケーションをとっていくことが必要で、その場の会話だけではあまり深く関わっていけないし、孤立感をもっている患者さんのサインをキャッチできるよう、心に留めておいて携わっていくと思っています。

司会 僕もケアマネジャーをやっていて、ダイケアなどとも関りが深いので、まだまだ現場にどっぷりというところがあります。職場の状況等をみなさんと共感し、これからの社会の流れを見据えた上での役割を提起していくことが大事かと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。きょうはどうもありがとうございます。



此上 祥史

「次郎ちゃんどうするの。いつも僕はびんぴんころりが望ましいと云っていたから」

「ぼっくり史跡巡り」日記 第46回

「ぼっくり往生の寺」吉田寺 前編

Profile がもう 健

- 1935年 大阪市住吉区生まれ
- 大阪府議会議員四期（西成区選出）
- 郷土史家
- 大阪きづな医療福祉生協前理事長
- 著書「今昔木津川物語」「今昔西成百景」など

JR法隆寺駅より西へ約一・五キロ。吉田寺にやってきた。この寺は「ぼっくり往生の寺」として有名だが、次郎と友子も初めての参詣だ。寺の案内によれば「千古の歴史を秘めた日本上代文化発祥の地、斑鳩の里に吉田寺がある。世界文化遺産の法隆寺と万葉の古歌で有名な竜田川の中間にあり、竹藪や樹木の生い茂った森の中にひっそりとたたずんでいる。永延元年（九八七）に恵心僧都が母の臨終に、除魔の祈願をした浄衣を着せると、母は安らかに、称名念仏のなかに往生をとげられた」そして今も、御祈禱のおすすめとして、寺では一人一回五千円で三回以上をするようにしている。都合で直接衣を持参できない方には郵送でも受付けている、

このことだ。

「次郎ちゃんどうするの。いつも僕はびんぴんころりが望ましいと云っていたから」

「いや、大金を出してまで祈禱してもらうつもりはない。それに私は日頃からこの寺を開基したという源信の『往生要集』に疑問を持っているから」

「源信とは地獄からの救済者として地蔵の信仰をひろめた人ではないの」「わが国での地蔵信仰は九世紀当時まではきわめて不振だった。ところが十世紀末になると源信の『往生要集』で、地蔵が地獄に入って衆生を救う悲願は他の仏菩薩にすぐれていると云いだし、源信は運動の指導的役割を果たすようになっていく」

後編に続く

19年度生協強化月間が 2019年11月30日で終了しました

組合員の皆さまの頑張りにより、今年度も多くの組合員さんに参加していただきました。引き続き、お知り合いの方やお友達をご紹介ください。よろしくお願いします！

月間目標達成(11月30日時点で目標の8割達成)支部&事業所のご紹介

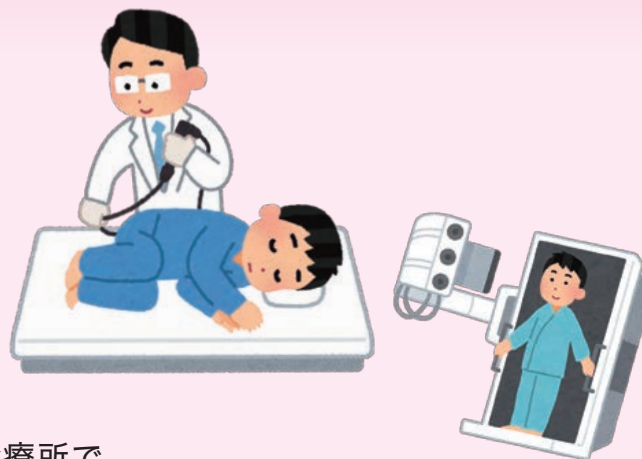
- 三泉支部
- 大正生協診療所ケアプランセンター
- 中支部
- 小規模多機能にじの家
- 千本北支部
- コープみなと介護よろず相談所

大腸がん 検診キャンペーン

実施中!

大腸がんはどんな病気?

肺がん、胃がんと同じく日本では非常に多いがんの1つが大腸がんです。死亡者数も多く、自覚症状も早期のものではほとんどないと言われており、気付いた時にはがんが進行していたというケースも多いそうです。



大阪きづがわ医療福祉生協の各診療所では大腸がん検診以外にも、様々ながん検診を受けることが可能です。

特に胃がんや肺がんは非常に多いがんです。生協の各診療所ではこれらのがん検診が組み込まれた健診コースがあるので簡単に受診することが可能です。年に1度、生協での健診をお勧めします。

がん検診は他にも!

みなと生協診療所
TEL.06-6571-5594

ながほり通り診療所
TEL.06-6533-0106

たいしょう生協診療所(医科・歯科)
TEL.06-6554-1197(医)/06-6554-8841(歯)

西成民主診療所
TEL.06-6659-1010

2020年男男女女

年男年女のみなさんに
今年の抱負をお聞きしました



圓山 直子さん
今年も身体に気を付けて頑張ります。



竹中 志帆さん
先生とお父さん、お母さんの言うことを守ります。



近藤 青直さん
ねずみのように小さくても大きく成長しよう!



折口 利明さん
長生きして孫にお年玉あげるのが楽しみ(ニコリ)。今大臣でも何でも悪いことしても辞めたら溶かすと思ってる、そんな世の中になってる。それはあかん、何とかせなあかん。



小川 昇三さん
1年元気でござい美味しいものを食べたいです。



乙瀬 麻木子さん
フルマラソン出場です!



嶺井 正繁さん
筋トレ、リハビリに励んで歩けるように、がんばります。



井上 恭子さん
健康で過ごせる一年でありますように。



上原 純枝さん
2020年は子どもたちと屋外で遊び、琉球舞踊もまた真剣に取り組んでいきたいです。笑門には福来る! 困難も笑って吹き飛ばし、いい年にしたいです。



渡口 高大さん
残りの小学校生活を、楽しみたい! そして、4月から中学1年生になるので、部活や英語の勉強も、しっかり頑張りたいです。



右から
坂東 紀子さん
戸田 ますみさん
平井 正美さん

これからの為
の役立つ知識相続法の改正
改正された相続法を解説します

相続法などが改正されました。そのうちで市民にとって身近な3つの改正ポイントを紹介します。

介護者等の特別寄与料

亡くなった人（被相続人）の介護や看病で貢献した親族（相続人以外、たとえば長男の嫁）は、現行法では遺言がない限り介護や看病に対する報酬を遺産から受ける方法はありませんでした。今回の改正で「特別寄与料」が新設され、相続人に請求できることになりました。

配偶者の居住権保護

配偶者居住権は、所有者たる配偶者（夫）が亡くなっても、現在住んでいる家に、その配偶者（妻）がそのまま住み続けられる権利です。現状でも、配偶者が自宅を相続すれば住み続けることは可能ですが、その分、遺産分割で得られる他の財産（たとえば預貯金）は少なくなります。

新設された配偶者居住権を利用すれば、所有権は取得しないで無償で自宅に住み続け、かつ生活資金として預貯金もより多く相続できるようになりました。

法務局による自筆証書遺言保管制度

これまでは自筆証書遺言（全文直筆、作成日付の明記、署名押印）は自宅や貸金庫で保管するか、弁護士等に預かってもらう方法しかありませんでしたが、「法務局における遺言書保管に関する法律」が新設され、封をしない自筆証書遺言を法務局（住所地、本籍地、所有不動産所在地）で保管してもらうことができるようになります。いままで必要であった死亡後の家庭裁判所での遺言書の検認手続も不要になります。また被相続人の死亡後は、法定相続人や受遺者らが、

- ① 遺言書の保管の有無の照会
- ② 遺言書原本の閲覧請求
- ③ 遺言書の画像情報による遺言書情報証明書の交付請求

ができるようになります。そして、一人に閲覧等をさせたときは、法務局は、速やかに、遺言書を保管している旨を遺言者の相続人、受遺者及び遺言執行者に通知することとなっています。（施行日は2020年7月）

12月14日（土）千本いこいの場で相続法学習会を開催しました。

17名の組合員さんが参加し、右記の内容を学習し質疑応答もさかんにおこなわれました。その後個別相談会を開催。



学習会の様子

おたよりコーナー



■ miraいのインフルエンザワクチンについての記事しっかり読みました。これから寒くなりますので風邪には特に気を付けていきたいと思っています。

西成区 上野 富久子さん

■ 毎号楽しみにしております。私の家には猫一匹と犬一匹がいます。仲は良くないのですが、この間、仕事から帰るとソファの上で猫が犬に肩を組んで並んでいました。7kgの猫と4kgのチワワなんですが、その絵が面白くて思わず笑ってしまいました。

大正区 マモリーさん

■ 昨日も今日も良い天気で、万博公園のコスモスもきれいでした。幸せを感じましたが、大雨で被害に遭われた方にお見舞い申し上げます。お体を大切になさってください。心が痛みます。

港区 宮崎 美紀子さん

■ 楽しみにしておりましたら本当に当たりましたので、ありがとうございます。今日応募しました。よろしく願います。

大正区 山村 利子さん

■ 毎回楽しく読ませて貰っています。今月は難しかったです。いつか当選するかなと、楽しみに挑戦しています。今年は子供と2人でインフルエンザの予防接種を済ませました。まだ子供が小さいので先生に相談しての接種でしたが、親身になって色々お答え頂きました。ありがとうございました！

西成区 ヤマモトヨウ子さん

■ 毎回子供が間違い探しをしてくれます。図

書カードが当たった時は、嬉しそうに本屋さんで本を選んでいきます。 大正区 野島 綾子さん

■ 今年は信じていた人にだまされ、孫2人が犬の散歩中に足を骨折、下の孫は犬に顔をかまれ、いろいろありました。もうそろそろ、いい事があるともと思います。 大正区 匿名さん

■ 断酒を初めて7ヶ月になりますが、尿酸が正常値に下がりました。rGTPも320から51に。正に「継続は力なり」です。

西区 川本 泉さん

■ いつも楽しく拝見しています。毎朝・昼・夜と食事の事で精いっぱいです。毎月一回はみらいを見ているので楽しいですよ。今年の健康まつり楽しかった。わたしも72歳の終わりですが、一年が楽しかったですよ。

西成区 熊谷 好子さん

■ シリーズの医福食住みらいの目のインフルエンザの記事大変参考になりました。ありがとう御座いました。ぜひ予防接種を西成民主診療所で夫といっしょに受けたいと思います。その節はどうか一つよろしくお願い致します。

浪速区 内川 洋子さん

■ 元気で長生き夢まじりの皆様の笑顔の写真を見て参加出来なくて残念でしたが、これから目標に向かって出来る事から協力したいと思っています。

港区 和田 恒子さん

■ 4歳と8歳の娘を育てています。今号では、

下の絵は上と7ヶ所の
まちがいがああります。

どこ？どこ？
まちがいがああります。



【ハガキ 応募方法】
解答イラストを切り取り、ハガキに貼って下記住所までお送りください。

【メール 応募方法】
解答画像を添付の上、下記アドレスまでメールをお送りください。

*ハガキ・メールとも氏名、住所、連絡先、
今号の記事への感想やご意見、近況
などをお書き添えください。

11月号の
こたえ 応募総数81名で
正解者80名でした。



11月号の当選者 15名
図書カード当選者は発送をもって発表に替えさせていただきます。
抽選は毎月第一月曜日に行っています。見学されたい方は、ご一報の上、お越しください。

職員募集

- 看護師
- 理学療法士
- 作業療法士
- 歯科衛生士
- ケアマネジャー
- 介護福祉士
- 訪問介護員（ヘルパー）
- 事務員
- 介護スタッフ
- 送迎スタッフ
- 運動トレーナー
- リハビリ助手

● 求人詳細は当生協ホームページにて
<http://www.osaka-kizugawa.coop>
各事業所又は本部(06-4394-8500)まで



郵便番号は正確に
〒556-0024 塩草2-2-31
大阪きづがわ生協「みらい」係
mirai1@osaka-kizugawa.coop



どしどしご応募
お待ちしております

1月末日 必着